

れんごう鳥取



2025年1月1日
No.1

二次元コードで
HPへGo!!

発行:日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人:山口一樹 編集人:谷本 寛
住 所:〒680-0847 鳥取市天神町30-5
TEL(0857)26-6605 FAX(0857)26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ:https://jtuc-tottori.jp

年頭あいさつ

新年あけまして
おめでとう
ございます



連合鳥取
会長 山口 一樹



大岩に白蛇・金色かえるが常時棲むとの言い伝えが残っている「江嶋神社」
(若桜町観光協会より提供)

あけましておめでとうございます。
ご家族揃って良い年を迎えたで
しょうか。人間は一人だけではなか
なか生きていけるものではありません
。周りの人たちの手助けや支援、応
援があつてこそ思い切った活動がで
きると思います。これまでのみなさ
まのご支援・ご協力に、心から感謝を
申し上げます。そして、今後も引き続
きご協力を賜りますようお願ひいた
します。

昨年は、元旦から石川県能登地方
を震源とする大きな地震が発生しま
した。各地からの義援金やボラン
ティアの方々の支援により少しずつ
元気を取り戻しつつあったのですが、
追い打ちをかけるように9月には豪
雨により再び甚大な被害が襲つてし
まいました。改めて、一連の地震災
害・豪雨災害によって亡くなられた
方々に謹んで哀悼の意を捧げるとと
ても、負傷されたみなさま、住まいを
失つたみなさまに心からお見舞いを
申し上げます。被災地の一日も早い
復旧・復興をお祈りします。その他に
も、日本全国で地震の発生やゲリラ豪
雨の発生、灼熱地獄のような暑さなど
により、どこにいてもいつ何時自然災
害が起こるかわからない状況です。常
日頃から備えておくことが重要です。
世界に目を向けると、あちらこち
らで戦争が起っています。軍事侵
攻は国際平和に対する暴挙であり、
最大の人権侵害であります。友達に
なれるかもしれない人たちが傷つけ
合うことがあってはなりません。

運動を展開していきます。

一日も早い停戦を求め、平和な日常
が戻ることを願います。

2024春闘は、一昨年以上の賃
上げを実現する組合が多くあります
。それぞれの産別・単組の努力の賜
物であります。引き続き、この賃上げ
ムードを継続させ、中小・零細企業や
労働組合が組織されていない労働者
を含め県内約23万人の雇用労働者に
どう波及させていくかが重要です。
しかし、規模間格差がより拡がつ
てしましました。2025春闘では、労
務費を含めた確実な価格転嫁を実施
し、中小・零細企業の大手企業を超
える賃上げに力を入れることとしてい
ます。賃上げの継続に向けて頑張り
ましょう!!

その他にもたくさんの課題があり
ます。「組織拡大・強化」「男女平等・
ジェンダー平等の推進」「政策課題の
実現」等の実現に向けて取り組んで
いかなければなりません。

さて、昨年の第50回衆議院選挙の
結果を受け、与党過半数割れの状況
は国会運営を大きく変えています。
私たちの一票は無駄ではなく、政治
を動かすことができると思った人も
おられると思います。働く者・生活者
には、今年の参議院選挙で声を届け
てくれる人を増やし、政権交代「第二
幕」に向けて頑張りましょう。

正
本年も
よろしくお願い
致します

はたらくのそばで
ともに歩む

私たち連合は、
みなさまとともに歩み続けます
◀「連合アクション」統一ワードロゴ



東・中・西部地域協議会&女性委員会・青年委員会定期総会を開催

東部地協「第31回定期総会」【2024年12月11日(水)／白兎会館】



中部地協「第30回定期総会」【2024年12月13日(金)／倉吉体育文化会館】



写真上／
単組事情による
佐山議長の退任に
伴い選出された
盛山修議長代行
新年度役員あいさつ



西部地協「第30回定期総会」【2024年12月5日(木)／米子市ふれあいの里】



青年委員会「第34回定期総会」【2024年12月15日(日)／中部教育会館】



女性委員会「第29回定期総会・学習会」【2024年12月14日(土)／倉吉体育文化会館】



【女性の健康に関する学習会】

＜講演＞ 演題 「女性のライフステージに応じた健康課題について」
～ウェルビーイング自分を大切にする心得～
講師／鳥取県立中央病院 患者支援センター
助産師・不妊症看護認定看護師
橋本 万住子さん(写真右)



連合2025春季生活闘争方針(骨子)

〈連合「第94回中央委員会」/2024.11.28より〉

メインスローガン みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会
サブスローガン みんなでつくろう!働く仲間の労働組合

1. みんなの賃上げでみんなの生活を向上させ、新たなステージを定着させよう

2022春季生活闘争からスタートした「未来づくり春闘」は、2023闘争で“転換点”をつくり、2024闘争では“ステージ転換”に向けた大きな一歩を踏み出した。2025闘争では、四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せる年としなければならない。連合は、すべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージをわが国に定着させることをめざす。

2. 「働くことを軸とする安心社会」に向け、格差是正と分配構造の転換に取り組もう

1990年代後半以降、国民全体の所得水準が下方にシフトする中で格差の拡大や貧困層の増加が進んできた。格差是正と分配構造の転換をセットで進めていく必要がある。2024春季生活闘争の成果と課題を踏まえ、規模間、雇用形態間、男女間の格差は正の前進をはかる。

①賃上げ、②働き方の改善、③政策・制度実現の取り組みを柱とする総合生活改善闘争の枠組みのもと、産業状況の違いを理解しあいながら、中期的視点を持って「人への投資」と月例賃金の改善に全力を尽くす。

3. 「みんなの春闘」で労働組合に集う仲間を増やし、集団的労使関係を広げよう

多様な働く仲間に向けて「みんなの春闘」を展開し、労働組合だからこそ、労使対等の立場で労働条件などの交渉ができるという労働組合の存在意義を広く社会にアピールし、仲間を増やし、集団的労使関係を社会に広げていく。

【基本スタンス】

<具体的な要求項目>

◆賃上げ要求

1. 月例賃金

- ①経済社会の新たなステージを定着させるべく、すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上の実現をめざす。
- ②企業内のすべての労働者を対象に、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、時給1,250円以上の協定化をめざす。

2. 中小組合の取り組み(規模間格差是正)

- ①有期・短時間・契約等労働者の生活を守り、雇用形態間格差は正をはかるため、地域別最低賃金の引き上げ率を上回る賃金引き上げに取り組む。
- ②賃上げと価格転嫁・適正取引における格差の解消をめざし、基盤整備に取り組むとともに格差は正分を積極的に要求する。
- ③賃金カーブ維持分は、労働力の価値の保障により勤労意欲を維持する役割と同時に生活水準保障でもあり、必ずこれを確保する。賃金カーブ維持に重要な役割を果たす定期昇給制度がない場合は、人事・賃金制度の確立をめざし、労使での検討委員会などを設置して協議を進め、定期昇給制度の確立に取り組む。
- ④賃金カーブ維持相当分(1年・1歳間差)を確保した上で、自組合の賃金と社会横断的水準を確保するための指標を比較し、その水準の到達に必要な額を加えた総額で賃金引き上げを求める。また、獲得した賃金改善原資の各賃金項目への配分等にも積極的に関与する。
- ⑤賃金実態が把握できない場合は、連合加盟組合平均賃金水準(約30万円)を念頭に、賃金カーブ維持分4,500円に格差は正を含む賃上げ分13,500円以上を加えた総額18,000円以上・6%以上を目安とする。

3. 雇用形態間格差は正の取り組み

- ①有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保の観点から、企業内のすべての労働者を対象とし、時給1,250円以上の企業内最低賃金協定の締結をめざす。
- ②有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同等に能力の高まりに応じた待遇の実現に取り組み、「経験5年相当で時給1,400円以上」をめざす。
- ③賃上げの結果および企業内最低賃金協定を法定最低賃金引上げに結びつける。地域別最低賃金については、全都道府県で1,000円超えを実現するとともに、一般労働者の賃金中央値の6割水準をめざす。

4. 男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正

- ①賃金データにもとづいて男女別の賃金分布を「見える化」し、勤続年数や管理職比率の差異など賃金格差につながる要因を分析・是正する。
- ②生活関連手当(福利厚生、家族手当など)の支給における住民票上の「世帯主」要件および女性のみに証明書類等を提出させることの廃止を求める。
- ③各種手当などの実態を点検し、雇用管理区分や性別により手当の種類や金額が異なる場合、必要に応じて是正を求める。

5. 初任給等の取り組み

- ①初任給について社会水準を確保する。
18歳高卒初任給の参考目標値……200,200円
- ②中途入社者の賃金を底支えする観点から、年齢別最低到達水準についても協定締結をめざす。

6. 一時金

- ①月例賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含め水準の向上・確保をはかる。
- ②有期・短時間・契約等で働く労働者についても、均等待遇・均衡待遇の観点から対応をはかる。

◆「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

- 1.「豊かな生活時間の確保」と「あるべき労働時間の実現」の取り組み
- 2. すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み
- 3. 職場における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み
- 4. 人材育成と教育訓練の充実
- 5. 60歳以降の高齢期における雇用と待遇に関する取り組み
- 6. テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み
- 7. 障がい者雇用に関する取り組み
- 8. 中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備
- 9. 短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に関する取り組み
- 10. 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

◆ジェンダー平等・多様性の推進

- 1. 女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- 2. あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- 3. 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- 4. 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

◆春季生活闘争を通じた、集団的労使関係の強化・構築と組織拡大の取り組み

◆「ビジネスと人権」の取り組み

◆運動の両輪としての政策・制度実現の取り組み

連合全国一斉集中労働相談ホットライン STOP!長時間労働 ～あなたの働き方は大丈夫?～

2024年12月10日(火)、11日(水)、全国の地方連合会が労働者からの相談に対応する「労働相談ホットライン」を開設しました。

連合鳥取においても、産別から3人の役員と吉田正相談員、専従役員が事務局に詰めて相談電話に備えたところ、2人の方から相談がありました。

- ・「固定残業代」支払いとサービス残業
- ・パワハラ問題

相談者の一人とはその後面談を行い、鳥取労働基準監督署にも出向くなど、問題解決に向けて、相談者に寄り添った対応をしています。



Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

～みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会～ 連合鳥取2025春闘開始宣言集会

■日 時 2025年2月1日(土)
13時00分～16時00分

■場 所 倉吉体育文化会館 大研修室

■内 容

- ①主催者あいさつ
- ②連合鳥取2025春闘方針提案
- ③意見・討論
- ④取り組み事例報告
(UAゼンセン、私鉄総連)
- ⑤質疑応答
- ⑥闘争開始宣言
- ⑦団結がんばろう

■規 模 280人

■その他

連合鳥取「ジェンダー推進計画」
フェーズ2に基づき、女性組合員の
参加にご配慮願います。

■報告〆切 1月17日(金)

2025 連合鳥取任務機構

(○局長 ○事務局)



会 長	山口 一樹										
副 会 長	森 由香里	北畠 仁史	細砂 直	山崎 瞳							
事 務 局 長	河村 正之										
副事務局長	松本 善樹	山下 浩二	寺田 真里	藤繩 和彦							
企画委員会	○山崎 森 (オブ)松本	北畠 細砂 山下浩	○河村 寺田	三浦 藤繩	大川 谷本	土師 土師	盛山 盛山	木村 木村			
総務局	○河村										
組織局	○大川	北畠	山崎	河村	○松本	寺田	藤繩	三浦	筧	垣屋	門脇
非正規労働センター	(組織局と同じ)	岩本	米花	山下詩	山下浩	寺田	土師	盛山	木村	山根	村尾
中小労働局	○北畠	河村	○松本	伊藤	○山下浩	○寺田	藤繩	筧	大川	米花	
国民運動局	○三浦	細砂	河村	○松本	山下浩	寺田	○藤繩	谷本	山根	岩本	安藤
広報・教育局	○谷本	井上	伊藤	梶川	○松本	山下浩	木村	門脇	山根	安藤	山本
男女平等局	○森	北畠	山崎	井上	杉元	寺田	藤繩	寺田	小谷	谷本	門脇
労働政策局	○細砂	伊東	細砂	河村	○松本	山下浩	杉元	藤繩	梶川	三浦	飯塚
政治センター	○山口	森	北畠	井上	伊藤	寺田	寺田	寺田	寺田	筧	大川
青年委員会	委員長／樋川	副委員長／塚田	井上	中村	事務局長／原		藤繩	盛山	木村	藤繩	三浦
女性委員会	委員長／小谷	副委員長／稻田	桑村		事務局長／山名		寺田	寺田	藤繩	盛山	木村
地域協議会	東部地協	議長／土師	事務局長／山下浩		中部地協	議長代行／盛山	事務局長／寺田				
	西部地協	議長／木村	事務局長／藤繩								

※各地協事務局長は連合鳥取副事務局長と兼任

（町の電気屋さん）
既に始まっている。
次期選挙は



てんじんじらさ



再生紙を使用しています

昨年10月に実施された第50回衆議院議員選挙では、与党自民党・公明党が大きく議席を減らす結果となり、与党が過半数割れとなつた。背景には「政治と金」の問題をはじめとする政治不信に加え、総裁選での発言を反故にする石破総理の言動が影響したのは紛れもない事実ではないだろうか。▼ただ鳥取県においては状況が180度異なつていた。鳥取県初となる総理大臣の誕生を祝福する『ご祝儀』的な感覚もあつたのだろう。まさに我々にとつては大逆風が吹き荒れた▼一方、我々の対応はどうだつたのか。「勝つも負けるも風任せ」になつていなかつるが、もう一度、見つめ直す必要があるのでないか▼風が吹こうが、嵐が来ようが、揺るがない組織力を身につけなければならぬ。そのためにも日常的な組合活動を総点検し、組合員との接点強化、推薦議員など身近な議員との連携強化を早急に取り組まなければならぬ。次期選挙は